

岩手の生協の今をお伝えする

岩手の生協

VOL.19 2009.4

岩手県生活協同組合連合会

〒020-0180 岩手郡滝沢村土沢 220-3

☎019-684-2225 / ☎019-684-2227



イラク・アフガン・パレスチナに平和を 3・20 世界の平和を願う市民のつどい in 岩手



今こそ沢内村“生命行政”に学ぼう
シンポジウムを開催



県連灯油委員会で生協灯油の最終価格を決定

特集

**学ぼう、変えよう！冷たい社会保障
いのち・人権が大切にされる社会に**
～中央社会保障推進協議会 相野谷安孝さん講演
(08年度第2回「協同組合講座」「生協学校」)より

■岩手県生協連トピックス

- ・いわて食・農ネット講演会「徹底検証！ミニマムアクセス米」
- ・「ユニセフのつどい」ネパール支援活動の報告 ほか

特集

「学ぼう、変えよう!冷たい社会保障 いのち・人権が大切にされる社会に

中央社会保障推進協議会 相野谷安孝さん講演(08年度第2回「協同組合講座」「生協学校」)より

「構造改革」路線による「際限なき負担増と給付の縮小」が社会保障制度のあらゆる分野ですすみ、この間医療や介護保険制度の改悪が続けられてきました。その結果、医療や介護を受けたくても受けられない「医療難民」「介護難民」が増え、まさに「いのちの格差・危機」が迫っています。一方で、社会保障費の財源としての消費税増税に向けた動きが活発になってきました。今回は特集として、相野谷安孝さん(中央社会保障推進協議会事務局次長)の講演「学ぼう、変えよう!冷たい社会保障」から社会保障制度の実態を学び、充実を求める運動にいかしていきたいと思います。

■「すべり台社会」と大企業の大もうけ

年末から年始にかけて「派遣村」が大きなニュースになりました。いったん働く場が打ち切られると、安い賃金で蓄えもない、雇用保険もない、医療保険もない、生活保護すらも拒否されて、生きていくすべまでも奪われてしまうというのが現実です。派遣村でも先頭に立った自立生活サポートセンター・もやいの湯浅誠事務局長は、日本は「すべり台社会」だと言っています。NHKも特集でセーフティネットクライシス(安全網の

危機)、どん底まですべり落ちる問題を取り上げました。

それは主に非正規労働者ですが、正規でもまともに残業代がつかないとか、最近では、就職するときに年俸、月俸で金額が決められ、残業代なしという会社も生まれ、労働者の賃金は全体的に低下しています。

問題は、そうやって吸い上げたお金を土台にして、特に大企業がボロもうけを続けていることです。金融危機で、トヨタの赤字が1,500億円と大々的に宣伝していました。トヨタは創業以来

ずっと黒字で、いまやトヨタ銀行と言われるほどお金を積み立てている中で、今期のみ赤字です。

トヨタをはじめ大企業の内部留保は230兆円です。1年間の国家予算は80兆円だから、その3年分もあり、当面の業績が悪くても雇用を続けることは大したことではないのです。もう一つ、企業は雇用するだけでなく、働く人たちの生活がちゃんとできているか

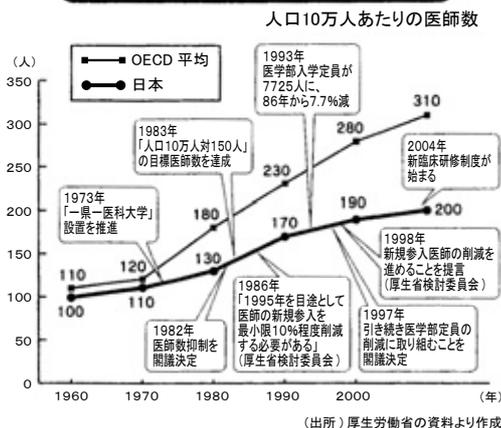


08年度第2回「協同組合講座」「生協学校」での学習2「政府の医療費抑制政策で岩手の医療はどうなるか?」(岩手社保協・村上和雄事務局長)資料から

■医師不足の原因は、政府の「医療費抑制政策」にある

日本医師会も、「医師偏在・不足の原因は、国による長年にわたる医療費抑制政策の結果」(日本医師会による医師確保に関する見解・2006年10月17日)と分析しています。

日本の医師数と政府の政策



どうか責任を持ってこそ、憲法第25条にあるように、国民が健康で文化的な生活を営めるのですが、そうなっていません。

■高齢者の万引きと自殺者が増えている

毎年、日本の犯罪件数が下がる中で、65歳以上の人の犯罪だけが増加しています。とくに万引きが多く、高齢者の犯罪の53%で、女性だけでみると82%が万引き、10年前の3.5倍です。その理由の3割強はさびしかったから、というものです。高齢者の殺人も多いのですが、介護疲れで心中を図り、自分は死にきれずに殺人罪に問われるというケースが増えています。

病気になるっても病院にかかれないう高齢者も増えていて、病院の支払いのために食事回数を減らしたという人や、負担が心配で受診しない人もいます。

現役世代をみると、日本の正規労働者は1997年をピークに、10年間で400万人減り、逆に非正規労働者は500万人増えています。つまり、より安上がりなパート、アルバイト、派遣労働などに切り替わりました。働く側の選択によって社会全体がそうなったわけではありません。

非正規が増えたのが10年前で、その翌年の1998年から年間の自殺者が3万人を超えました。その理由の7割は経済苦です。ここ11年間のトータルで35万人、中規模の自治体の人口がまるまる消えたことになり、10分に一人が命を断っている計算です。

■日本型雇用と貧しい社会保障

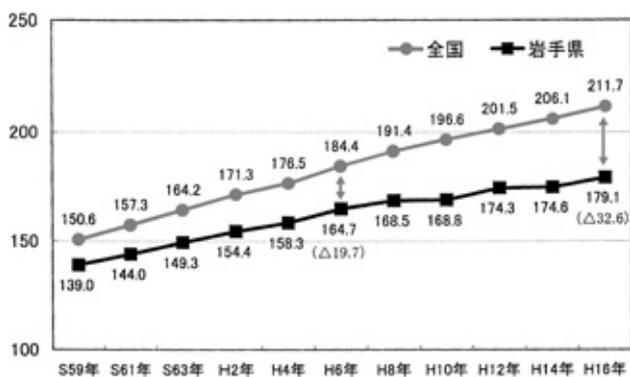
この数年、会社はだれのためにあるのか、という論争があります。日本の企業は、第二次世界大戦が終わって60年余、世界的に見ると特異な雇用形態をとってきました。ヨーロッパなどでは、医者はいくら、機械工はいくらと職種ごとに賃金が決まっています、年齢に関係なく、同一労働、同一賃金、どこの会社に勤めても同じです。日本は終身雇用という形態で、多くの人は企業に勤めるといって、定年までいます。同じ職種でも企業によって賃金が違い、若いときは給料が安くても経験を重ねると賃金上がり、子どもの学費も出せるぐらいになり、老後は退職金と年金を合わせると生きていけます（勤めた企業にもよりますが）。小さい会社であればそれなりの賃金で、給料の高い大企業に入ればいい暮らしができるという形で

す。そうしたことから、70〜80年代になると、子どもたちがいい学校に入って、いい会社に勤め、高い給料をもらえるようにと教育面の競争を巻き起こし、多くの人が駆り立てられました。また本来、医療はお金の心配をしないでかかれるのが当たり前ですが、いい給料をもらえば多少の医療費負担をしても自分の健康は守れるという仕組みになっています。そういうことから、企業からはみ出たときのことを考えることがなく、そこからこぼれた人たちの社会保障制度は充実されませんでした。つまり、安定した良い企業に終身雇用されれば、生涯安定した収入が保障され、社会保障を良くして賃金と併せて生活の安定を図るという意識が薄かったのです。日本をトータルに見ると、結果的に、世界の国々に比べて社会保障が貧困になってしまいました。

会社はだれのためにあるのかという点で、企業はこの15年ほどの間に、地域のため、労働者のためという理念を捨て、特に大企業を中心に、株主の利益追求という考え方にまりました。もうけを阻害する賃金は、正規から非正規労働者にすることで減らし、その影響で正規の人の賃金も上がりませ

政府は「医者が増えると、医療費が増える」という考え方から、医師養成数を削減してきました。その結果、医療施設で働く医師数は約25万9千人（2004年度）、人口1000人あたり20人と、OECD加盟30か国中27位です。これが「3時間待ち、3分診療」という言葉に表されるような、日本の医療の実態につながっています。

■岩手県の医師不足の現状 全国及び岩手県の医師数の推移 (人口10万人対医師数)



岩手県の医師数は徐々に増加しているものの、全国平均に比べて少ないうえに較差が拡大している。

ん。10年ぐらい前から終身雇用制や年功序列型の賃金体系もやめてしまい、春闘でもベースアップがなく、労働者の賃金はトータルで下がりました。もう一つ、企業がもうけの足かせになると考えたのが社会保障の費用です。社会保障の負担は企業の社会的責任ですが、この拠出してきたお金を出し渋り、できればゼロにしたいと考え、あの手この手の施策を政府に迫ってきました。消費税もその一環です。

そのようにして、230兆円をため込み、派遣切りをする一方で、株主配当を下げた大企業はなく、増やしているところもあります。

大きくつかんでおきたいことは、日本の社会保障はもともと貧困だったが、お金を出すべきところが出さなくなると一層ひどい状態になり、3万人を超える自殺者や、手遅れ死亡事件を引き起こすような現状にあるということです。

■医療費無料が世界の常識、世界の流れ

日本の医療は「皆保険」になっています。アメリカに公的な保険はないので、民間の保険会社に入らなければなりません。お金のない人は入れません。5人に1人

は無保険です。マイケル・ムーア監督の『シッコ SICKO』というアメリカ映画は、テロより怖い医療制度というのが宣伝文句で、膝の上を20センチぐらい切った人が、お金がないので自分で縫う場面から始まります。無保険も大変ですが、民間の保険はもうけが目的だからランクがあって、いざというときの治療が対象外だったりします。ある高齢の夫婦は、奥さんががんになったが、がんは保険の対象外だったため自宅と土地を売って治療し、回復はしたものの夫婦でホームレスになったことを描いています。

映画ではアメリカのほかに4カ国、イギリス、フランス、カナダ、キューバを取り上げていますが、ヨーロッパ諸国、キューバを含む中南米、カナダは、いずれも医療費無料が常識になっています。4カ国とも原則的に窓口負担はありません。

実は、医療費無料のさきがけの国は日本です。健康保険制度は80年前、昭和元年（1925年）に給付がスタートした時から、健康保険の本人は10割給付で、窓口負担はありませんでした（ただし、加入できたのは一部の労働者に限られ、家族も対象外でした）。その

後、一部負担はあっても原則無料だったものが、25年前の1984年に1割負担になり、1997年から2割負担、2003年から今の3割負担になり、世界の常識に逆行してきました。

70歳以上が無料となったのは、1973年から1983年までの10年間でした。これはみなさんの岩手県の沢内村が1960年代にお年寄りの医療費を無料にしたことが発火点になり、全国に広がったものです。これを発展させていけば、ヨーロッパやカナダ、中南米の常識と一致したのですが、25年前に大きく転換しました。働いている人を守る仕組みを壊して窓口負担を導入。そうして病院は遠ざかり、1割負担になったとたん病院に来る人は1割減。2割負担になってまた1割減。3割負担になってまた1割減となりました。安心して病院にかかれなくなっただけです。

本来、皆保険により安心して病気を治せる国だったのが、社会保障の後退により、国保の保険証も取り上げられ、病院にかかれぬ人が増えました。そして、かつぎ込まれたときには手遅れで亡くなる人もいて、NHKの救急告示病院調査によると、

■医療費を抑制するため、岩手ではどんな計画がつけられているか
○「医療費適正化」計画＝高齢化の進行に伴う医療費の伸びを抑制するための計画

平成20年から24年までの5年計画
(その主な内容と5年間で達成すべき目標)

①	メタボリックシンドローム該当者及び予備軍の減少	…10%以上
	特定検診の実施率	…70%以上
	特定保健指導の実施率	…45%以上
②	療養病床の削減1803床(平成24年度)	…平成18年度は療養病床2990床なので▲1187床
③	平均在院日数の削減(平成18年10月)35.5日	→32日に(▲3.5日)

これらの目標達成によって削減される医療費
…5年間で105億円

○08年10月から政府管掌健康保険が解体され、都道府県ごとの「協会けんぽ」が発足
↓都道府県ごとに医療費削減を競争させることが狙い

第2回「協同組合講座」生協学校 参加者の感想

○社会保障は労働者が戦って勝ち取ったもの。また、不断の努力が必要であるという言葉が心に残った。こういう場でお話を聞

2006、2007年の2年間で475人も無保険などで亡くなっています。

■変革を求める声の広がり

私は、年間5兆円にもものぼる軍費はいらないと思っと思っていますが、当面国民の命を守る財源に少なくとも1兆円ぐらい回したらどうでしょう。軍事費の半分は、毎年新しい戦艦（イージス艦など）や戦闘機などの武器を買っていますが、戦車は1リットルのガソリンで200メートルしか走れないし、F15戦闘機は1時間の飛行で乗用車の8年分を消費するそうです。富士山のすそ野や北海道など毎日のように演習をする費用、排気ガスによる環境への影響、そういった面からも軍事費の削減を訴えたいと思います。

いま本屋には「生きさせろ」という本が並んでいます。日本に暮らしてよかったと思うためには、社会保障を立て直し、再生するしかありません。一人ひとりの生命、人権が大切にされる社会であれば、派遣切りをして寒空に放り出すような企業は許されははずです。

大事な点は、社会保障というのは労働者がたたかいてきたものだということです。黙っていて

はよくならないので、私たち社会保障推進協議会は運動としてそのたたかいを進めてきましたが、去年あたりから少し明るい展望が出てきました。一つは後期高齢者医療制度で、75歳以上は姥捨てのようだと怒りの声の広がりが、去年6月、参議院でこれを廃止するという法律案が可決されました。いま衆議院で審議中ですが、今度の衆議院の選挙結果しだいでも可決される、つまり廃止に追い込める展望があります。

そのほか、全国各地で生活を守れという運動、地域の自治体病院をなくすなどという運動も大きく広がりました。皆さんの岩手県でも去年9月に、生協や農協、事業者、消費者の皆さんが一緒になって原油高への緊急対策を求める大きな集会をやりました。こういう共同の広がりは今まであまり見なかったことで、その変化は、今年、さらに大きな変化につながることを期待しています。

去年放映されたNHK『篤姫』の時代、明治維新は坂本竜馬などが鉄砲や刀を振るったから起こったわけではなく、大政奉還の前後20年ぐらいの間、日本全体のまともった声にはならなかったけれども背景には各地で起こった農民一

揆、このままでは生きられないと地域から吹き出す声がありました。2008年はこのような運動の広がりが、今年も、もっと大きくなるだろうと思います。

皆さんの生協は単なる事業活動ではなくて、地域の人たちと一緒にどう暮らしを守っていくか、という運動でもあると思いますので、ともに2009年を大きく変える年にしたいと思っています。その運動の柱の中に社会保障の課題を入れていただければ幸いです。（1月21・22日実施・文責・事務局）



かないと、マスコミで調整された情報しか入ってこないのではないかと思う。

○生協として地域の人たちと一緒にやれること、やるべきことがたくさんある。運動し、世論を形成し、しくみを変えていくこと、自分たちが健やかに生きられるよう、自分たちが努めていくことの大切さを感じました。

○アメリカの医療が崩壊しているのは明らかであり、なぜそれを真似て日本が進まなければいけないのか疑問です。やはり私たち一人ひとりがちゃんと目を開いて考えていかなければ。

○医療費無料が世界の常識・流れになっていくのに、先進国である日本が逆行していく様子を見ているといらだたいない思いがあります。黙っていないで声を出し行動しなければいけない。運動はやっぱり大事なことであったらためて思いました。

○何か行動を起こさなければ自分たちの生活は守れないことを感じました。リストラ問題、いつ我が家にもふりかかるかわかりません。

○一人一人の声を生かし、協同の力を発揮し、みんなで達成感を喜べるような活動をしたい。

○時間もつとほしい内容ばかりだった。

劇映画「いのちの山河〜日本の青空口〜」 製作・上映運動を成功させる岩手の会の取り組み

■シンポジウム

「沢内村の生命行政に学ぶ」

3月7日、シンポジウム「沢内村の生命行政に学ぶ」が行われ、約120名が参加しました（県水産会館）。このシンポジウムは、無医村・豪雪の貧村で全国に先駆け老人と乳児の医療費無料化を実施した旧沢内村（深澤晟雄村長）の生命行政の理念と実践を学び、全国へ発信する取り組みとして開催されたものです。

元沢内病院院長の増田進先生（雫石町緑陰診療所所長）による基調講演「沢内村の生命尊重・生命行政のあゆみ」で、増田先生は



深澤村長の業績、自身の関わり、現在の地域医療は「県も病院も

上（国）ばかり見ている。行政や病院が住民、患者に目を向けなければいらないアイデアがある。」とお話。続いてリレートークでは高橋典成さん（NPO法人輝け「いのち」ネットワーク代表）、赤坂美代子さん（みちのくみどり学園保健師）、及川剛さん（県地域医療を守る住民組織連絡会代表）、村上和雄さん（岩手県社会保障推進協議会事務局長）がそれぞれの立場から発言しました。

最後に、引き続き沢内村の生命行政の背景や映画誕生の経過など



について学ぶとともに、この映画の製作と上映を成功させるために

様々な取り組みを行っていくことなどを確認しました。

■現地ロケにエキストラ参加しました！

2月中旬から行われていた現地ロケに、「いのちの山河」を成功させる岩手の会・盛岡医療生協が募集したエキストラ18名が参加しました（2月21日）。

この日は日中も零下6度、吹雪が止まない中、神奈川・千葉・東京などからバス3台と地元沢内の方々も大勢参加し、その数は300名を超えるエキストラが延べ4時



間ほどの撮影に協力しました。

福島の病院で亡くなった深澤村長を乗せたジープが沢内に帰ってくるのを、村民が沿道で出迎える」という映画のクライマックスシーンの撮影に、エキストラ一同は寒さと待ち時間の長さにひたすら耐えながら参加。豪雪に苦しんだ当時の沢内住民の困難と映画作りの大変さも少し理解できた1日でした。

大沢監督の話では「豪雪・厳冬の中で、村人たちの深澤村長の死をいたむ気持ちと、ご遺体を迎える熱い思いが十分に描きされた」とのこと、完成が楽しみです。

■製作協力も広がっています

「成功させる岩手の会」では製作協力金1000万円を目標に、1万円単位での協力を呼びかけています。

現在、約500万円ほどの協力金が寄せられています。「岩手の会」よびかけ人や地元西和賀町の個人・企業、県内の諸団体、遠くは関東在住の岩手県出身の方からも「定額給付金を有効に使いたい」とのお申し出がありました。映画完成（6月予定）まで受け付けていますので、ご協力よろしくお願ひします。

■いわて食・農ネット学習講演会「ミニマムアクセス米徹底検証！」

いわて食・農・地域を守る県民運動ネットワーク（いわて食・農ネット）は3月14日、第2回総会と学習講演会を開催しました（県水産会館、60名参加）。

全国農民連帯委員の横山昭三さんが「徹底検証 汚染米・ミニマムアクセス米」と題して講演。「汚染米を口にしなかった人はいなかっただくらい」日本中に拡大した事件は、輸入ノルマを達成したい農水省とリスクを回避したい商社の利害が完全に一致していた。説明が40%しかできていないのに政府は安全宣



言を出し、流通再開後もカビ毒が発見されるなど検査がずさん。そもそもミニマムアクセス米に輸入義務はなかったのに、優先して輸入し外食や加工品で消費させてきたことなども今回の事件で明らかになり、世間は大きく変化し国産で安全安心を求める消費者の声が高まっている。

MA米ストップは農政を転換させる上でのステップになっていく、ことなどを話されました。講演会後に第2回総会を行い、09年度の活動方針を確認しました。

■「ユニセフのつどい」でネパールでの支援活動を紹介

3月21日、ユニセフ岩手県支部・いわて生協・県学校生協が共催して「いわてユニセフのつどい」が行われ（いわて生協ベルフ仙北にて）、指定募金先のネパールの視察報告やネパール料理を楽しみ、活動に理解を深めました。

昨年11月に日本ユニセフ協会のネパールスタディツアーに参加した、いわて生協常務理事の福士久美子さんが現地の支援機関や支援先の取り組みを紹介。福士さんは、学齢期の未就学児

のための教育支援、女性と子どもの権利向上、トイレ設置などの公衆衛生支援について報告し「地域の文化や伝統を大切にしながら支援していることで信頼を得ている。知識普及や人材育成には時間とお金がかかるが、自立への支援が着実に進んでいると感じた」と報告しました。

その後、ネパールカレーやチャイ（紅茶）の試食、ネパールの女性の衣装「サリー」の着方の体験、遊びながら学べる「ユニセフすごろく」ゲームなども楽しみました。

つどいに先立ち3月15日〜21日、同会場で「ユニセフ写真展」も開催にさらされる子どもたち



アグネス・チャンが見たイラク・モルドバ視察」も開催しました。

※ユニセフ岩手県支部のホームページができました※

このホームページを通じて、財団法人ユニセフ協会の取り組みをはじめ、ユニセフ募金活動の意義や実践例、岩手県支部の組織・運営の紹介や各企画のご案内を行い、県内にユニセフ活動への理解と支援をより一層広げていきます。

アクセスはこちら

<http://www.unicef-iwate.jp>



■「イラク戦争とは何だったのか」
最新情報から考え合いました

イラク戦争開始から6年となる3月20日、「イラク・アフガン・パレスチナに平和を 3・20世界の平和を願う市民のつどい in 岩手」が開催されました（主催：同実行委員会、事務局：県生協連・県消団連）。会場の教育会館大ホールには500人が集まり、イラクの子どもを救う会代表の西谷文和さんによる講演「最新映像で見るイラク&ガザ」最新映像で見るイラク&ガザ「今こそ平和憲法を活かすとき」に聞き入りました。2～3月中旬までイラクに滞在し、避難民や子どもたちへの支援活動と戦争被害の取材をしてきた西谷さんは、イラク戦争の特徴として▽



これまでになかった環境破壊▽民間軍事会社の派遣による戦争の民間化 ▽多大な民間人犠牲の3項目を示し、環境破壊に関しては劣化ウラン弾やクラスター爆弾に加え「毒ガス使用の疑いもある」と話しました。また「イラクの様子を伝えるニュースが減ってきているが、草の根の運動の力は大きいと信じている。3月20日を忘れず、平和運動を広げていかなければならない」と語りました。

参加者からは「西谷さんの命がけの取材からイラクの実態を知ることができた。平和への思いをあらたにした」「驚きと憤りの連続でした。自分の勝手なイメージがいかに間違っていたか



を思い知らされた」などの声が寄せられました。
講演後はピースパレードが行われ、参加者は西谷さんとともに盛岡市の中心商店街を歩き、世界平和を呼びかけました。

■県連灯油委員会

1 トリツ25円の還元を決定

3月11日、第7回県連灯油委員会が開催され、冬季灯油最終価格について協議しました。今冬は高い価格でのシーズンインとなり、不況の進行による家計の節約がすすんだことや、記録的な暖冬で灯油消費量は大きく減少しましたが、一方で先行きの価格見通しが不透明な中でも灯油利用者の拡大がすすみ、昨年を大きく超える灯油仲間づくりになりました。

こうした仲間づくりと利用結集、シーズン後半の仕入価格の値下がりによって、12月度～3月度の配達分について1トリツ25円の還元を行うことを決定しました。

還元総額（概算）は5,830万円、県平均価格に比べ、生協

・12月21日～3月20日の最終価格は

●定期巡回（配達税込価格）

1 トリツ64.5円、18トリツ1缶1,161円

●電話注文（配達税込価格）

1 トリツ65.5円、18トリツ1缶1,179円

灯油利用組合員への家計貢献はおよそ1億2千万円になりました。

今後の情勢としては、原油価格は40ドル前半が続いていますが、円が下がり始め輸入価格に影響する一方で、世界的な不況がしばらく続く予想からすぐには大きな値動きにならないと思われれます。また、灯油国内在庫は前年を上回る水準になっており、需要期を終えてもう一段の値下がりも考えられます。

生協灯油は冬季期間中を通じて、県内平均価格を4円前後下回る価格を実現！

